

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	母子保健(歯科保健を含む)	コード	作成者	役職	保健課長
		02-02-01	氏名	末長章彦	
			電話	64-1819	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	妊娠期から就学前までの子どもと母親の保健を推進する	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	少子化傾向が強まる中、致死率の高い感染症の予防や病気治療が高度化し多くの病気を治せるようになってきた。しかし、家庭や地域の子育て機能の低下、児童虐待の増加、肥満に関連した生活習慣病の出現など、新たな問題が発生してきている。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 一貫した母子保健の推進(母子手帳交付、育児相談事業、健康診査、パパママスクールなど) 感染症予防 生活習慣病予防(栄養委員会による食育事業) 	

施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業費(単位:千円)						優先順位 その他	
			H17		H18		H19			
			直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費		
1 乳幼児等健康診査事業	B	健康被害予防事業	ソフト事業	1,084		1,081				
		1歳6ヶ月児健康診査事業	法定事務	742		566				
		2歳児歯科健康診査事業	ソフト事業	672	11,292	648	9,075			
		3歳児健康診査事業	法定事務	1,626		1,501				
2 母子相談事業	B	妊婦乳児健康診査事業	法定事務	5,480		5,532				
		育児総合相談窓口設置事業	ソフト事業	232		85				
		母親・両親学級事業	ソフト事業	59	6,351	16	6,060			
3 マザースクール事業	B	幼児クラブ事業	ソフト事業	121		5				
		マザースクール事業	ソフト事業	2,344	3,917	4,605	2,415			
4 予防接種事業	B	予防接種事業	法定事務	36,723	4,716	33,609	3,580			

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	75,359	68,778	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

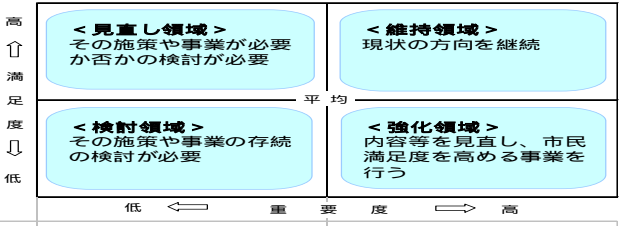
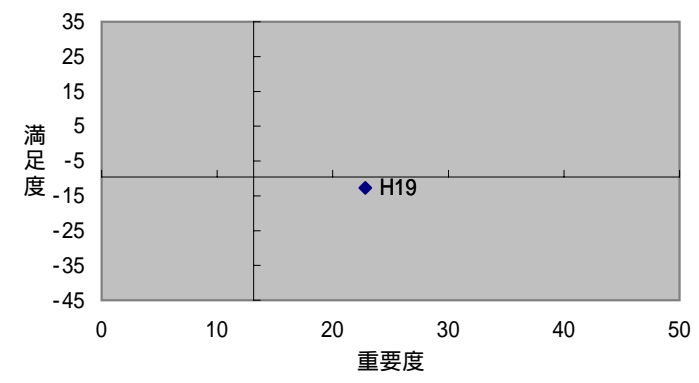
実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
保育園	乳幼児健康診査事業・予防接種事業	要観察児のフォロー
幼稚園	乳幼児健康診査事業・予防接種事業	
中央公民館	ブックスタート事業	4ヶ月児検診時に読み聞かせ

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	4	乳幼児の発育状況をチェックし、心身の異常を早期に発見し適切な指導を行うための乳児健康診査は高受診率で成果をあげている。	3	一貫した母子保健の推進により一定の成果を上げている。
2 事業構成の適当性	4	妊娠期から就学前までの各期に応じた事業構成となっている。	4	母子保健の主要な事業構成であり妥当である。
3 施策の有効性	4	乳幼児期の健康サポート体制は、利用し易さを基準に企画している。	4	子育て支援の観点から必要な事業であり有効な施策である。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	安心して子育てができる環境は多くの市民が望んでいる施策である。この施策を充実させ、家庭や地域の教育力増進を図り、住みよいまちの実現を図る。		厚労省の平成19年度予算案では、少子化対策として生後4ヶ月までの全戸訪問の実施が盛りこまれた。本市としても乳児のいる家庭の孤立化を防ぐため、本事業の取り組みを検討する必要がある。	
二次評価者コメント	母子保健法の改正により、多くの事務が市に移譲されてきているが、小児医療を含めた総合的な支援体制の構築が望まれる。相談事業においては多種多様なケースがあり、保健、福祉、医療の共通するプロセス、要素があるため、支援ネットの網目をできる限り細かくして、それぞれの観点から専門的に対応することが求められている。平成20年度予算の方向性としては、さらに母子保健を推進していくこととして前年度並みの配分とする。			平成20年度 予算の方向性 前年度並みの配分

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	22.8		
満足度(%)	-12.7		



調査結果に対するコメント、市民の反応等	安心して子どもを子育てることができると感じている市民の割合(安心して子育てができる環境を多くの市民が望んでいる。住みよいまちとは家庭や地域に教育力があると、多くの市民が認識している。)
---------------------	--

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 乳幼児健診受診率	目標	%	90.0	90.0	95	100	岡山県の受診率(前年度)
	実績	%	88.0	87.7		85.7	
	達成率	%	97.8	97.4			
2 3歳児健診時麻疹接種率	目標	%	95.0	95.0	95	95	岡山県の3歳児麻疹接種率(前年度)
	実績	%	93.6	94.4		93.3	
	達成率	%	98.5	99.4			
3 3歳児肥満率	目標	%	2.0	2.0	2	2	岡山県の3歳児肥満率(前年度)
	実績	%	5.6	3.4		5.6	
	達成率	%	280.0	170.0			
4 3歳児朝食欠食率	目標	%	10.0	10.0	10	10	
	実績	%	13.2	13.3			
	達成率	%	132.0	133.0			